

和の光

宝塚市立西谷中学校



誰もが通しやすい学校づくりに向けて

校長 筒井 啓介

いじめ防止対策推進法の第1章・第2条によると、「いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う**心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう**」と定義されています。下記に、具体的ないじめの例を挙げてみます。

【いじめの例】

- ①からかわれたり、嫌なことを言われたりする。
- ②仲間外れ・無視される。
- ③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする。
- ④けられたり、プロレス技をかけられたりする。
- ⑤物やお金を無理に渡すように言われる。
- ⑥物を隠されたり、壊されたりする。
- ⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられる。
- ⑧SNS等に悪口を書き込まれる。

皆さんは、このようなことをされたり、したりしたことはないでしょうか？ 例えば、自分はそんなつもりではなかったけれど…と無意識のうちに相手を傷つけるような言動をとっていないでしょうか？今一度、自分の言動を見つめなおして、責任のある言動がとれる人になって欲しいと思います。また、どのような理由があってもいじめは許せません。(侮辱罪・傷害罪・強要罪など内容によっては大きな犯罪となります)

また、マスコミで報じられている数々のいじめ事件を見ても、いじめている子(加害者)は当然ですが、いじめを見てはやし立てる子(観衆)や見て見ぬふりする(傍観者)の存在が大きな影響を与えます。**観衆や傍観者の存在がますますいじめを助長し、取り返しのつかない事態になることが多々あります。**

いじめの構造図

皆さんの周りで、**いじめと思われる行為があった場合、躊躇せず周りの人に知らせてください。**また、いじめにあった時には、**絶対に一人で抱え込まず、身近な友人・親・先生に相談をしてください。**人はそれぞれ個性があります。互いの個性を認め合いながら、切磋琢磨し弱点を克服できるような集団づくりを目指していきましょう。

※学校通信(令和5年2学期終業式①)より再掲載しました。

■道徳の授業「魚の涙」より(1年生)

1年生は道徳の授業で、「魚の涙」という作品を題材に、いじめについて考えました。クラスの中で起きた問題を重大な問題としてとらえ、時間をかけて皆で話し合いながら考えてきました。「いじめは絶対に許せない」こと、「暴力だけでなく、言葉でもいじめは起きる」こと、「その行為によって相手が嫌な思いをした場合はいじめになる」ことをしっかりと理解して欲しいと思います。そして、この学びを活かして、誰もが安心して過ごせるクラス・学年・学校をつくっていきましょう。(下記に生徒の感想を紹介します)

■さかなくんが中学時代のいじめについて、いじめられている子に対して「話を聞いてあげたり、励ましてあげたりはできなかったけれど、誰かが隣にいただけで安心できたのかも知れない」と言っていた。私だったら、励ましてあげたり、いじめの原因をつきとめたりと、いろいろと行動すると思います。なぜなら、いじめは勘違いで起きたかも知れません。またいじめは絶対によくないものだからです。私は、いじめを止められなかったことがあるので、そのような後悔をもうしたくないからです。でも、いじめを止めるには勇気がいります。もしも、勇気が出せなかったら、私は周りの大人に伝えて解決してもらいます。なぜなら、親や先生は味方になってくれると信じているからです。さかなくんが「悩んでいても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのにもったいないですよ」と言っていたのに私は共感しました。なぜなら、西谷中は小学校とほぼ同じメンバーで、環境に変化がないし、外の世界のことを知らないのも、もっと外の世界を見に行くことが大切だと思うからです。(女子の感想)

■「魚の涙」を読んで、自分と似ているなと思うところがありました。その他、魚の世界にもいじめがあるということを知りました。僕はいじめを見たことがあるし、されたこともある。いじめられているところを見ると、助けてあげたい気持ちはあっても、怖くてなかなかできない。だから、見て見ぬふりをしたこともあります。いじめをされると、精神が痛めつけられて心が苦しくなります。そのせいで、性格が変わったり、体調を崩したりすることもある。いじめは、ことばで行われることもある。僕は、嫌なことを言われても、怖くて言い返せないこともありました。でも、世の中には助けてくれる人もいます。例えば、家族や話がしやすい友人です。いじめは例え一度でも、いじめられた人の心には一生傷が残ります。いじめは、最悪の場合、人をおいつめて命を奪うこともあります。だから、いじめは絶対にしないで欲しいです。(男子の感想)

■道徳で、さかなくんが書いた「魚の涙」という作品を学習しました。私はこの学習を通して、新しい発見と自分もこの作品に書かれたことと同じような経験をしていることに気が付きました。まず、この作品で新たに発見したことは、文中にもある「広い空の下、広い海にでてみよう」という言葉の意味です。私は、最初は「広い空の下、広い海」って、さかなくんのどのような思いが込められた言葉なのだろうと思っていました。いろいろと考えるうちに、「広い空の下、広い海」は「いじめが起きやすい狭い環境の中(学校)は、魚の世界で例えると、「狭い空の下、狭い水槽」という言葉になり、「狭い環境ではいじめが起きてしまうけれど、広い環境に出てみると、狭い環境よりもずっと楽しい」という意味ではないかと思います。次に、この作品と同じような体験についてですが、作品の中に「僕はいじめる子たちに、何で？と聞けませんでした」と書かれています。この部分は、今の私も同じ立場なのだと思います。これからは、いじめられたい、悩んだりしている人がいたら、私は少しでも寄り添って励ましてあげたいと思います。それから、いじめている人には「いじめはおかしい、いじめは絶対にしてはいけない」ということを分かってもらえるようにしたいです。(女子の感想)

■私は、魚の世界でも人間の世界のようにいじめがあることを知って(魚は広い海ではいじめが起らないのに、狭い水槽ではいじめが起きてしまうと書かれた部分です)、とても驚きました。人間は誰かがいじめられていると、止めに入る人もいてすごいのに、魚はみんな一緒になって一匹の魚をいじめるのがとてもかわいそうです。私は、いじめがなくなることを願っています。もしも、身近なところでいじめが起きたら注意し、止めさせるように頑張りたいです。注意することはとても勇気がいることです。でも、勇気を出すことでいじめられている人が救われるのなら、頑張りたいです。(女子の感想)

日	曜	行事
1	月	専門委員会 ノー部活デー
2	火	
3	水	生徒朝礼 進路学習講演会 ♥
4	木	
5	金	
6	土	市中体連夏季総体（ソフトテニス部） 市吹奏楽連盟演奏会（吹奏楽部）
7	日	市中体連夏季総体（ソフトテニス部）
8	月	ノー部活デー
9	火	トライやる・ウィーク事前訪問（2年）
10	水	あいさつ運動 生徒総会 ♥
11	木	
12	金	期末懇談
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	期末懇談
17	水	期末懇談 給食最終日
18	木	大掃除
19	金	終業式
20	土	阪神中体連総合体育大会（ソフトテニス部、陸上競技部）
21	日	阪神中体連総合体育大会（ソフトテニス部、陸上競技部） 西阪神吹奏楽コンクール（吹奏楽部）
22	月	●夏季休業（～8/28）
23	火	
24	水	
25	木	補習
26	金	補習
27	土	
28	日	
29	月	補習
30	火	
31	水	▼
♥印はスクールカウンセラー勤務日		
【翌月の予定】		
10～15日 学校閉鎖、 21～23日 補習、 29日 始業式、 30日 実力考査（～9/2）		